



多様な性を考える

～一人ひとりのセクシュアリティ～

◆ 2017年5月18日(木)

● 午前11時10分～午後0時40分

場所／神戸三田キャンパス

Ⅱ号館102号教室

● 午後3時10分～午後4時40分

場所／西宮上ヶ原キャンパス

図書館ホール

◆ 講師／川^{かわ}西^{にし}寿^す美^み子^こ氏

(大阪私立学校人権教育研究会指導員・専門学校講師

大学非常勤講師・NPO法人NAAH理事・学校薬剤師 等)

*本講演会では手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。
また、録音、録画を行い図書館資料として保存しますのでご活用下さい。

■講演内容

自身のセクシュアリティについて、何かしら悩みを持たない限りじっくりと考えたことのある人は少ないかもしれない。女・男で当たり前？

生物の一員であるヒトとして、セクシュアリティの問題は広く深い。近頃、LGB/Tという言葉がメディアでも頻繁に用いられ、ようやく学校でも生徒の問題として取り上げられるようになった。

性的指向・性分化疾患・性別違和などの言葉が作られ、学校現場はますます混乱してきた。言葉にするとすべてを包含することは難しく、何かしらそこから漏れる事柄が出てしまい、SOGIという言葉も使われるようになった。

偏見や差別は「知らない」ことから生まれる。まず、「性」について心身両面から考えてみる。自分自身のセクシュアリティを見つめ、考えると思いがたることがあるかもしれない。

多様「性」を認めることの大切さ、当たり前を疑ってみよう。当事者の問題ではなく私たち一人ひとりの問題として。

■講師紹介

大阪市立大学大学院創造都市研究科・修士課程(『学校種別ジェンダー意識』)

企業勤務・管理薬剤師を経た後、私立高等学校理科教諭・人権教育に携わる。

学校で生徒や保護者の悩みや相談を受け、いじめやセクシュアル・ハラスメント被害にあう実態を許してはならないと、いじめ・DV・性的ハラスメントの防止のための調査や教材づくり、生徒・学生や教職員をはじめ、企業等多方面での啓発・研修・講演活動に取り組む。

学校にかかわる相談、いろいろなハラスメントの防止やセクシュアリティ教育、生徒・学生たちの支援など、困っている子どもや親の役に立てることを願って活動している。

総合テーマ：

Towards the Realization
of Human Rights

— 人権保障の実現を目指して
(2015～2019年度)